

特定非営利活動法人 らいぶらいぶ

平成 27 年度(2015 年度)事業報告書

1. 会員に関する報告

平成 28(2016)年 3 月 31 日現在 正会員 14 人
賛助会員 62 人 (個人 61 人、団体 1 法人)
ボランティア 28 人
ブックチャンスボランティア 42 人

2. 運営に関する活動報告

今年度で法人発足 10 年を迎え、3 月より代表理事、副代表理事が代わり運営体制の引き継ぎをおこなった。スムーズな移行を目指し、それぞれが役割を確認しあった。

(1) 理事会の開催

平成 26 年度から外部より理事を依頼し、広い視点で法人運営にあたる。

第 1 回 平成 27 年 5 月 23 日

第 2 回 平成 27 年 5 月 31 日

第 3 回 平成 27 年 6 月 28 日

第 4 回 平成 27 年 11 月 21 日

第 5 回 平成 28 年 3 月 1 日

(2) 事業委員会の開催

主に図書館の運営に関する事項について、討議・検討するために不定期に開催していたが、1 月より新事業委員会として事務局員 7 人が参加し毎月 1 回開催している。

(3) 定例会の開催

原則、毎月第 2 木曜日に事務所にて、事務局からの報告、各プロジェクトおよび新規企画提案を審議・検討する場として、正会員が参加し定例会を開催している。

(4) 働く環境の整備

産休・育休の取得、復職後の育児短時間制度や遅番シフトの免除などにより、仕事と家庭の両立を支援している。また、仕事を辞めずに親族の介護ができるよう介護休業を取得する事例が出て来ている。

3. 事業の成果

図書館運営事業

平成 25 年 10 月から受託した 3 期目は、6 年間の実績を踏まえ、職分の改編をし、人が生きる体制作りを図ってきた。さらに安定した体制を模索し、27 年 10 月より図書館での経験が豊富な契約社員を雇用した。司書力のみならず、モチベーションも高く、らいぶスタッフを支える力になってきている。

市職員(司書)と定例的な蔵書管理委員会で話し合いを重ね、棚移動が実現し、予算等についても意向を伝えることができるようになってきた。

LCA 国際小学校が相模原市橋本台の新校舎に移転することから、学校図書館運営業務を受託した。バイリンガル機能を持つ図書室の 1 年目として、蔵書の整理や読書環境の充実を司書教諭と協力しながら進めた。

非営利事業

平成18年からおこなっているエフエムさがみでの「ブックらいぶ」は本の紹介にとどまらず、メンバーが直接出演してトークライブをおこなう等の工夫を重ね、クオリティを高めている。なお、平成28年4月に500回目、同年7月に10年目の放送を迎える。

「絵本の中の料理を作る会」は、昨年に続きユニコムプラザさがみはら主催の「ユニコムまちづくりフェスタ」のイベントの一つとして開催し、他団体との連携事業とするメリットを活かしている。

司書力を高めるための「勉強会」は、講師に市の司書を依頼することで、市にもアピールできた。近隣の図書館、学校図書室、公民館図書室で働く人たちにも浸透してきている。

図書館と市民をつなぐ会・さがみはら主催の「調べ学習」「図書館ひろば」、市民活動パネル作成等、相模原市内の団体や市民グループとの連携を図っておこなった。

ポーノ相模大野ショッピングモールでのおはなし会は、企業からの依頼で実現した。

ブックチャンス事業

平成26年から受託している親子コミュニケーション事業は、今年度で終了となる。今後は、3区の各子育て支援拠点が実施団体となり、全市でおこなわれることになる。市との協働事業、親子コミュニケーション事業の受託と5年間の実績が認められた結果である。ボランティアからも、らいぶらいぶへの応援の声をたくさんいただき、感謝した。ボランティアへの感謝を込め、お礼状と写真を送付した。

平成27年度もJT(日本たばこ産業)から助成金を受け、定例の場所や単発でのブックチャンス継続して安定的におこなうことができ、ボランティアのモチベーションも上がった。メモリーノートを親子コミュニケーション事業の際に配布するために今年度も6,000部を市に寄贈した。また、市内の図書館3館にも150部ずつ寄贈した。

ボランティアの研修を兼ね、長野ヒデ子先生をお招きして、公開講座をおこなった。読み聞かせのボランティアを始め、絵本好きな人、長野ヒデ子先生のファンなど約140名の参加があった。また、ブックチャンスを広くPRするために、地域の子育て支援団体やグループと連携し、相模原市民文化財団との共催で、「ベビーフェスタ」を開催した。ご夫婦での参加も多く、幸せな雰囲気の中、たくさんの笑顔があふれたイベントとなった。

4. 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

① 図書館利用の普及啓発事業

ア 「ネットと本で調べる調べ学習体験講座」協力事業

図書館と市民をつなぐ会・相模原が主催による図書館を利用する子どもを対象とした講座への協力。

・ 内容

小・中学生の子どもを対象に、インターネットと本で調べる調べ学習の講座にて、テーマ決め、本やインターネットを用いての情報収集及び収集方法、まとめ作業、発表内容への評価などの協力・補助活動をおこなった。

・ 日時 ①平成 27 年 7 月 18 日(土) 13:00～16:00

②平成 27 年 8 月 8 日(土) 13:00～16:00

・ 場所 ①相模原市立図書館 ②相模原市立橋本図書館

・ 対象者 ①小学 3～5 年生 ②小学 3 年生～中学 1 年生

・ 参加者 ① 8 人 ② 8 人

・ 従事者人員 1 人(①, ②ともに)

・ 支出額 10,000 円(①, ②合計)

イ 「かながわファンドレイジング講座」講師受託事業

同講座の講師を受託。

・ 内容

神奈川コミュニティカレッジの同講座にて、「市民寄附、行政との協働のヒント」をテーマに、当法人の成り立ち、図書館運営の委託事例、ブックチャンスの協働事例を紹介した。

また、委託や協働事業から見えてきたもの、団体内での寄附集めの課題と展望について話した。

・ 日時 平成 27 年 9 月 18 日(金) 14:10～16:10

・ 場所 かながわコミュニティカレッジ講義室

・ 対象者 県内在住・在勤・在学で、これから県内で活動予定の人

・ 参加者 18 人

・ 従事者人員 1 人

・ 支出額 6,772 円

ウ 市内活動紹介パネル展示事業

平成 26 年度に実施した活動についてパネルを作成し、当法人の事業などを紹介。

- ・ **内容**

さがみはら市民活動サポートセンターの NPO と企業とのコラボレーション企画への展示参加のため、活動紹介パネルの作成および展示をおこなった。

- ・ **日時** 平成 27 年 9 月 18 日(金)～10 月 14 日(水)
- ・ **場所** 市役所ロビー、あじさい会館 1 階ロビー
- ・ **対象者** 相模原市及び近隣在住の一般市民
- ・ **従事者人員** 2 人
- ・ **支出額** 10,000 円

エ 図書館ひろば協力事業

図書館と市民をつなぐ会・相模原が主催する「図書館ひろば」への参加事業。

- ・ **内容**

「本を調べてビンゴをしよう！」というイベントを企画し、ビンゴ形式の問題用紙を作成した。

クイズのヒントとなる図鑑などを会場に準備し、子どもたちにそれらの資料を使って答えを探してもらうことで、図書館を身近に感じ、楽しんでもらえるよう工夫した。

- ・ **日時** 平成 27 年 11 月 29 日(日) 10:30～12:00
- ・ **場所** 相模原市立図書館 中会議室
- ・ **対象者** 相模原市及び近隣在住の幼児～小学 3 年生
- ・ **参加者** 15 人
- ・ **従事者人員** 2 人
- ・ **支出額** 2,000 円

② 読書推進に関する事業

ア ブックチャンス事業

乳幼児と保護者が絵本を介して、心ふれあう楽しいひとときがもてるチャンスを作っていこうとする事業。

①相模原市親子コミュニケーション支援受託事業

- ・ **内容**

相模原市南区における同事業を受託した。

同区の4か月児健診の会場に併設する場所で同事業の名称のもと、絵本を開く楽しい体験とともに、子育て支援のメッセージを届ける「ブックチャンス」の活動をおこなった。

- ・ **日時** 平成27年4月～平成28年3月 月3回 全36回
- ・ **場所** 南保健福祉センター
- ・ **対象者** 相模原市南区在住の4か月児健診に来た親子
- ・ **参加者** 延べ955組(全受診延べ2,107組)
- ・ **従事者人員** 14人、ボランティア 42人(活動ボランティア延べ304人)

②ブックチャンス

- ・ **内容**

4か月児健診時のブックチャンスだけではなく、継続的にブックチャンスを受けられるように、また「チャンス」を知ってもらうために、市内の子育て支援の場所でおこなった。

継続しておこなうことで、子育て支援の場所の担当者との信頼関係も構築でき、ブックチャンスへの理解も深まった。

定例では1～2か月に1回。単発も、昨年からの継続依頼が多かった。

ボランティア向けのフォローアップ研修も実施し、活動の意義・理解・交流を図り、参加の継続を促進した。

*平成27年度 JT NPO 助成事業助成金交付事業

- ・ **日時** 平成27年4月～平成28年3月 全73回
- ・ **場所** 相模原市内の子育てひろば等15か所
- ・ **対象者** 相模原市及び近隣在住の親子
- ・ **参加者** 延べ904組
- ・ **従事者人員** 14人、ボランティア 32人(活動ボランティア延べ195人)
- ・ **支出額** 1,979,740円(①、②合計)

イ コミュニティラジオ放送番組による読書推進活動事業

放送による読書案内、当法人主催・共催などのイベント案内事業。

- ・ **内容 「ブックらいぶ」**

エフエムさがみ(83.9MHz)で当法人の正会員による「おすすめの本」の紹介や、当法人主催のイベントなどの案内を発信する。時流・季節に沿ったものを中心に、多分野にわたる内容を紹介した。

また、平成 27 年度より専用フェイスブックを開設し、収録風景などを発信している。

昨年 10 月にインフォメーション担当が山本から鶴巻に交代し、新しい体制となった。

なお、平成 28 年 4 月 2 日に放送 500 回目、同年 7 月に放送 10 周年を迎える。

- ・ **日時** 平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月 毎週土曜日 11:00～11:15
- ・ **場所** エフエムさがみ
- ・ **対象者** 相模原市及び近隣在住の市民
- ・ **従事者人員** 2 人
- ・ **支出額** 125,000 円

ウ 体験型読書推進活動事業

絵本の中に出てくる料理を実際に作ってもらうことによって、より絵本に親しんでもらうための事業。

平成 28 年 2 月の「おだんごをつくろう！」で、開催 20 回を迎えた。

- ・ **内容**

- ① 「パンとフルーツポンチをつくろう！」絵本の中の料理を作る会

レンジで発酵できるころころパンとフルーツポンチを作った。パンに関する絵本の読み聞かせや紹介もおこなった。

昨年度に引き続き、ユニコムプラザさがみはらの主催事業と組んでおこない、当法人の活動を幅広い年齢層にアピールできた。

*「まちづくりフェスタ」(主催 ユニコムプラザさがみはら)参加事業

- ② 「おだんごをつくろう！」絵本の中の料理を作る会

おだんごをテーマに、みたらしだんごと三色だんごを作った。おだんごに関する紙芝居と絵本の読み聞かせや関連本の紹介もおこなった。単独開催であったが、リピーター率は高かった。

- ・ **日時** ①平成 27 年 10 月 3 日(土) 10:00～12:00 ②平成 28 年 2 月 20 日(土) 10:00～12:00
- ・ **場所** ①ユニコムプラザさがみはら 調理室 ②大野南公民館 料理実習室
- ・ **対象者** 相模原市及び近隣在住の小学生
- ・ **参加者** ①26 人 ②20 人
- ・ **従事者人員** 5 人(①, ②ともに) ボランティア ①のみ 3 人
- ・ **支出額** ①33,275 円 ②30,483 円

エ 「ボーノキッズデー」参加事業

ボーノ相模大野ショッピングモール主催「ボーノキッズデー」の参加事業。

- ・ **内容 「ボーノキッズデーのおはなし会」**
ボーノ相模大野ショッピングモールからの依頼を受け、同モール 4 階に開設されたキッズ広場にて、絵本の読み聞かせをおこなった。
- ・ **日時** ①平成 28 年 1 月 17 日(日) 13:00, 16:00 ②平成 28 年 3 月 13 日(日) 13:00, 16:00
- ・ **場所** ボーノ相模大野
- ・ **対象者** キッズ広場来場者の乳幼児とその保護者
- ・ **参加者** ①13:00 の回 21 組 16:00 の回 13 組 ②13:00 の回 18 組 16:00 の回 12 組
- ・ **従事者人員** 5 人(①, ②ともに)
- ・ **支出額** ①10,324 円 ②10,324 円

オ 子ども読書推進活動事業

ブックチャンスを中心に、乳幼児の五感に働きかけ、感性を育てるプログラム体験をおこなう事業。

- ・ **内容 「ベビーフェスタ」**
相模原市内にて、子育て支援をおこなっているグループと連携してのイベント。
ブックチャンス、わらべうた、音で遊ぶ「空耳図書館」、ベビーダンス、布おもちゃの体験や、「福祉クラブ生協」による子育て支援と離乳食に関するお話など、それぞれの持ち味を活かしたプログラムを通して、子育てを応援した。
また、参加したグループ間で、新しい出会いや情報交換・交流などがおこなわれ、つながり・連携などを持つことができた。
* 共催 相模原市民文化財団
* 平成 27 年度 JT NPO 助成事業 助成金交付事業
- ・ **日時** 平成 28 年 3 月 6 日(日) 9:00~17:00
- ・ **場所** おださがプラザ 多目的ルーム
- ・ **対象者** 相模原市及び近隣在住の乳幼児とその保護者
- ・ **参加者** 54 組(子ども 63 人 保護者 87 人)
- ・ **従事者人員** 7 人、ボランティア 22 人
- ・ **支出額** 106,477 円

③図書館運営事業

ア 相模大野図書館運営受託事業

相模原市立相模大野図書館の窓口業務等を受託し、地域に根ざした図書館の運営をおこなった。

- ・ **内容**

日々の業務のほかに活用講座、読書週間などのイベントや実習生などの受入れもおこない、成果を出すことができた。仕事の効率化、マニュアルの整備を勧めた。今年度も司書力や組織力を高めるために、積極的に研修に参加した。(P17～19 参照)

図書館来館者、利用冊数の減少化の対策のため、市職員(司書)と定例的な委員会(蔵書管理委員会)を持ち、増加する資料の管理や蔵書構成の見直しや書架割りの変更を市に提案し実行した。また、書架の美化や特集コーナーの充実をこころがけた。

- ・ **日時** 通年

- ・ **場所** 相模原市立相模大野図書館

- ・ **従事者人員** 14人(実働40人)

図書館活用講座

図書館利用普及啓発を目的に、図書館をより活用するための講座を4回開催した。(主催 相模原市立相模大野図書館)

各回、図書館員によるテーマに沿った本の紹介をおこなった。同時に、それぞれの図書館活用講座にちなんで「特集コーナー」を設けた。

「気象の教室～地元気象予報士によるお天気講座」

- ・ **内容** 最近の異常気象や気候変動の影響で関心が高いテーマについて、地元の気象予報士ならではの話題も含めた講座をおこなった。
- ・ **講師** 伊藤俊博氏(気象予報士/相模原市消防局勤務)
- ・ **日時** 平成27年7月2日(木) 10:00～12:00
- ・ **場所** 相模原市立相模大野図書館 集会室
- ・ **対象者** 相模原市及び近隣在住の
一般市民
- ・ **参加者** 48人
- ・ **従事者** 4人

「これでスッキリあなたの生活～ためしたくなる時間管理と掃除の習慣～」

- ・ **内容** すっきりとした生活を送るための時間管理と掃除の習慣についての講義を、ワークショップを交えておこなった。
- ・ **講師** 相模友の会
- ・ **日時** 平成 27 年 10 月 7 日(木) 10:00～12:00
- ・ **場所** 相模原市立相模大野図書館 集会室
- ・ **対象者** 相模原市及び近隣在住の一般市民
- ・ **参加者** 46 人
- ・ **従事者** 3 人

「耳で楽しむ文学 ～小栗久江のひとり語り」

- ・ **内容** 利用者に耳で聞く文学の楽しさを伝えるため、短編 3 作品の語りをおこなった。
- ・ **講師** 小栗久江氏 (市内在住)
- ・ **日時** 平成 27 年 11 月 7 日(金) 14:00～16:00
- ・ **場所** 相模原市立相模大野図書館 集会室
- ・ **対象者** 相模原市及び近隣在住の一般市民
- ・ **参加者** 54 人
- ・ **従事者** 3 人

郷土を知る～さがみはら今昔～

「さがみはらの史跡散歩～身近な歴史再発見～」

- ・ **内容** 「郷土を知る～さがみはら今昔」のシリーズ。市立博物館の学芸員を講師に迎え、旧石器から近現代までの相模原に関する遺跡についての講義をおこなった。
- ・ **講師** 木村弘樹氏(相模原市立博物館)
- ・ **日時** 平成 28 年 3 月 4 日(金) 14:00～16:00
- ・ **場所** 相模原市立相模大野図書館 集会室
- ・ **対象者** 相模原市及び近隣在住の一般市民
- ・ **参加者** 46 人
- ・ **従事者** 3 人

秋の読書週間

平成 27 年 10 月 27 日～11 月 9 日の秋の読書週間イベントとして、図書館ツアーや利用者や図書館員が好きな作家や本を紹介するコーナーなど、読書活動の推進にふさわしいイベントをおこなった。

館内の装飾も工夫し、図書館利用者の関心と理解を深めることができた。

イ 相模原市内学校図書室業務受託事業

日本人としての国際人教育を目指す LCA 国際小学校の図書室の運営を受託した。

- ・ **内容** LCA 国際小学校学校図書室司書業務
- ・ **日時** 平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日
- ・ **場所** LCA 国際小学校図書室
- ・ **従事者人員** 1 人

- ・ **支出額** 92,178,931 円（図書館運営事業ア, イ合計）

ウ 勉強会事業

図書館関連の各分野における有識者の講師による講演。

- ・ **内容 「ヤングアダルトサービス入門」**
講師に、相模原市立相模大野図書館司書・清野愛子氏を迎え、ヤングアダルトサービスについてお話しいただき、併せてワークショップをおこなった。
- ・ **講師** 清野愛子氏(相模原市立相模大野図書館 司書)
- ・ **日時** 平成 27 年 11 月 16 日(月) 9:45～12:20
- ・ **場所** ユニコムプラザさがみはら セミナールーム 1
- ・ **対象者** 図書館関係者、一般市民
- ・ **参加者** 34 人
- ・ **従事者人員** 2 人
- ・ **支出額** 16,782 円

- ・ **内容 ブックチャンス フォローアップ研修公開講座
「長野ヒデ子さんのおはなしの世界」**
講師に、著名な絵本作家・長野ヒデ子氏を迎え、自作の絵本や紙芝居制作にまつわるお話をしていただいた。
また、一般の方も参加できる公開講座としたため、当法人のブックチャンス事業を多くの人に知ってもらう機会にもなった。
*平成 27 年度 JT NPO助成事業助成金交付事業
- ・ **講師** 長野ヒデ子氏(絵本作家)
- ・ **日時** 平成 28 年 2 月 1 日(月) 14:00～16:00
- ・ **場所** 相模女子大学グリーンホール 多目的ホール
- ・ **対象者** ブックチャンスボランティア、当法人会員、近隣市町村の図書館関係者、
おはなし会・読み聞かせサークル、一般市民
- ・ **参加者** 140 人
- ・ **従事者人員** 3 人
- ・ **支出額** 162,825 円

NPO 関係研修参加実績一覧(平成 27 年度)

No.	日時	研修名	主催者	研修内容	備考
1	6/3	WEB・ソーシャルメディアのマーケティング戦略の作り方	NPOサポートセンター	ソーシャルメディア活用 WEB マーケティング戦略入門	NPO アカデミー 講師:加藤たけし氏 於:銀座研修室
2	6/5	長野ヒデ子さんとあそぼう ～花いちもんめ～	NPO 法人 都筑民家園管理運営委員会	長野ヒデ子さんとわらべうた &あかちゃん絵本であそぼう	於:都筑民家園
3	6/23	面接官トレーニング & 定着力アップセミナー	神奈川県 「若年者就職支援プログラム事業」	・採用の面接テクニック ・採用のための法務・労務 ・定着促進	講師:吉井裕之氏 森江加代氏 於:かながわ県民センター
4	9/18	マイナンバー制度研修会	相模原市民協働推進課	マイナンバー制度の概要 事業主として留意する点・罰則規定	講師:北条論氏 (日本税理士会連合会)
5	9/29 ～ 10/22	最新! 知って役立つ労働法	かながわ労働センター	・労働契約の成立、就業規則 ・非正規労働者の雇用 ・労働時間・労働組合、労働委員会の役割他	講師:勝亦啓文氏 (桐蔭横浜大学)他 於:厚木合同庁舎
6	10/7	売上を変えずに会社にお金を残す方法	かんぼ生命	助成金・補助金の傾向と対策 会社にお金を残すための金融機関対策と資金繰り改善法他	於:ラポール千寿閣
7	10/22	事業者向けマイナンバー制度説明会	相模原税務署	税や社会保障関係の手続き時に必要なマイナンバー制度について	於:ウェルネスさがみはら
8	11/11 ～ 12/2	NPO マネジメント講座 「ボランティアコーディネートの基本と実践」	かながわ県民サポートセンター	・ボランティアとはなにか、ボランティアコーディネートの必要性について・ボランティア受け入れのための必要な考え方と手順・魅力的なボランティア受け入れプログラム、他	講師:後藤麻理子氏 (認定 NPO 法人日本ボランティアコーディネーター協会) 於:かながわ県民センター
9	11/17	有期雇用はこう変わる	神奈川県かながわ労働センター	パートタイム労働法及び専門的知識を有する有期雇用労働者等に関する特別措置法のポイント	講師:島田陽一氏 於:サン・エールさがみはら
10	1/20	労働契約等解説セミナー 2015	厚生労働省	「安心」して「働く」ためのルール	於:サン・エールさがみはら

11	2/7	絵本読み聞かせライブ ×子育てトーク	げんきな図書館	サトシンの子育てトークと 絵本の読み聞かせ	於：渋谷男女平等 ダイバーシティセンター
12	2/29	本を選ぶこと	図書館と市民を つなぐ会・相模原	本を選ぶこと、読み聞かせをするう えで大切なことを、ワークショップで 学ぶ	講師：児玉ひろ美氏 (JPIC 読書アドバイザー) 於：大野北公民館

図書館関係研修参加実績一覧(平成 27 年度)

No.	日時	研修名	主催者	研修内容	備考
1	5/29	手づくり紙芝居シアター	手づくり紙芝居 劇団ぐるぐる座	演じ方を観覧し、おはなし会で 活かしていくために	於:神奈川県立青少年 センター
2	6/20	公開講座「図書修繕」	相模原市 市民協働推進課	・利用のための資料保存 ・図書の修繕の意義と基本的な 技術	講師:眞野 節雄氏 (日本図書館協会資料 保存委員会) 於:ユニコムプラザ さがみはら
3	6/28	読みきかせサポーター実 践講座	出版文化産業 振興財団	グループワークでたくさんの絵本 に触れ、子どもと絵本をたのしむ コツを共有する	講師:阿部 恵氏 於:研究社英語セン タービル
4	7/2.9	市町村図書館等職員研 修	神奈川県立図書館	①「図書館の現状と課題」 ②「インターネット検索入門」	
5	7/3	東京国際ブックフェア 2015	日本図書館協会 日本書籍出版協会	①シンポジウム「地域と共に生 きる図書館 今、図書館が伝え ているものとは」 ②「知」の読書術	①コーディネーター: 高田敏哉氏(筑摩書房) パネリスト:早苗忍氏 (鯖江市図書館)他 ②佐藤優(作家) 於:東京ビックサイト
6	7/13	医学情報キホン勉強会	静岡県立こども 病院	医療の現場での勉強会 健康・医学情報のついて、ヘル スサイエンス上級司書が解説	於:静岡県立こども 病院
7	8/18~ 20	図書館等職員著作権実 務講習会	文化庁	著作権法・著作権実務演習	於:昭和女子大学 グリーンホール
8	9/10	内部研修:国立国会図書 館デジタル化資料送信・ 県外図書館からの借用 について	NPO 法人 らいぶらいぶ レファレンス班	①デジタル化資料送信の職員用 端末操作方法 ②利用者端末操作方法・県外 図書館からの借用の窓口受付 方法	

9	10/15 ～16	全国図書館大会 ～東京大会～	日本図書館協会	<p>テーマ:図書館は地域の広場 生きる力 シンポジウム 「図書館とまちづくり」</p> <p>分科会(数字は分科会番号) 8「読書によって培う子どもの未来」 9「障害者差別解消法の施行で 求められる合理的配慮の提供と 図書館サービス」 10「図書館向け電子書籍サービ スシステムのアクセシビリティの 現状と課題」 13「出版と図書館」 14「図書館の役割を再考する」 11「図書館の自由と個人情報保 護の現在を考える」 19「不安定雇用の中のキャリア 形成」</p>	於:国立オリンピック 記念青少年センター
10	11/9	LCA 国際小学校図書室 見学	NPO 法人らいぶ らいぶ	NPO 法人らいぶらいぶが委託さ れている LCA 国際小学校の図 書室を見学し、経過・利用状況・ 課題等のおはなしを聞く	
11	11/9	図書館多読への招待in 東京	NPO 多言語多読	やさしい絵本から始め、楽しく英 語を読むという「英語多読」 英語多読の疑問の解消、図書 館での実践活動の紹介	於:四谷地域センター
12	11/10 ～12	第 17 回図書館総合展	図書館総合展 運営委員会	<p>11/10「情報の魔法を図書館にかけ る」 「新発見！朗読ワークショップで 『患者？』サポート」</p> <p>11/11「公立図書館の未来像」 「図書館司書のキャリアデザイン」 「脇明子さんに聞く『10 代を育てる 読書の力」</p>	於:パシフィコ横浜
13	11/19 ～20	レファレンスサービス研 修	国立国会図書館	レファレンスサービスの理論とと もに、科学技術情報についての レファレンスツールや調べ方に ついて知識を深める	
14	12/2	認知症サポーター養成 講座	相模原市 南高齢者相談課	認知症の正しい知識と、基本的な 認知症高齢者への接し方を学ぶ	於:南保健福祉センター

15	12/15・ 2/3	救命講習会	相模原市防災協会	応急手当の普及啓発を図る 大規模災害時における自主救護能力の向上に資する	於：相模原市消防指令センター
16	2/12	相模原市図書館職員 専門研修	相模原市立図書館	「はじめての著作権」著作権とは何か？から、著作物を使用する側の目線からの講義	講師：南亮一氏 (国立国会図書館 文献提供課長)
17	2/13	公立図書館の運営を 考える	日本図書館協会	武雄市図書館と海老名市立図書館の選書からみえてくることから、公立図書館の運営についての示唆	講師：手嶋孝則氏 (元町田市立図書館長) 井上一夫氏 (武雄市図書館・歴史資料館を学習する市民の会) 齋藤大起氏 (神奈川新聞記者)
18	3/2	障害者差別解消法に向けた図書館のサービス セミナー	日本図書館協会	図書館員のための「差別解消法」でいう障害者への合理的配慮と基礎的環境整備の具体的方法	講師：河村宏氏 (NPO 法人 支援技術開発機構) 佐藤聖一氏 (埼玉県立久喜図書館)
19	3/7	認知症と図書館	筑波大学知的 コミュニティ基礎 研究センター	超高齢化社会であることから、認知症を正しく理解し、図書館サービスとして検討していかなければならない	講師：於：筑波大学 東京キャンパス基礎 研究センター
20	3/8	子どもの本 ～この1年を振り返って 2015	出版文化産業 振興財団	2015年ほどんな子どもの本が出版され、どのように読まれたか	於：(株)図書館流通 センター
21	3/10	内部研修： きこえにくい高齢者の対応	NPO 法人 らいぶらいぶ	①耳のしくみときこえ ②聴覚障害(難聴)とは ③難聴者のきこえを理解しよう ④円滑なコミュニケーションのために	講師：大本純子氏 (神奈川県聴覚障害者センター/言語聴覚士)